

6 章 場合の数と確率	組	名	
		前	

- 1** 確率の基本事項をわかっていますか。
- 次の にあてはまるものを答えなさい。
- (1) どの場合が起こることも同じ程度であると考えられるとき、 という。
- (2) あることがらの起こる確率を p とするとき、 p の値の範囲は、 となる。
- (3) ことがら A の起こる確率を p とすると、A の起こらない確率は、 の式で求めることができる。

- 2** 確率の意味をわかっていますか。
- 1 枚の硬貨を投げるとき、表が出る確率は $\frac{1}{2}$ です。この確率の意味を正しく説明しているのは、次の①～④のうち、どれですか。
- ① 100 回投げるとき、かならず 50 回は表が出る。
- ② 100 人が 1 枚ずつ硬貨を投げるとき、そのうち約 50 人は表が出る。
- ③ 2 回投げるとき、そのうち 1 回はかならず表が出る。
- ④ 表が出た後にもう 1 回投げると、かならず裏が出る。

- 3** 簡単な場合について、確率を求めることができますか。
- 1 から 10 までの数字を書いた 10 枚のカードがあります。
- このカードをよくきって、その中から 1 枚のカードを取り出すとき、次の確率を求めなさい。
- (1) 2 の倍数である確率
- (2) 3 の倍数である確率
- (3) 2 と 3 の公倍数である確率
- (4) 2 の倍数でも 3 の倍数でもない確率

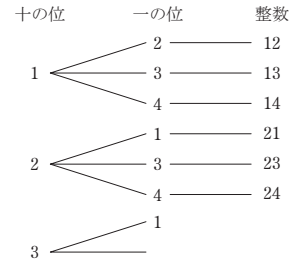
- 4** あることがらの起こる確率の範囲がわかりますか。
- 赤玉 3 個、白玉 5 個がはいっている箱から玉を 1 個取り出すとき、次の問いに答えなさい。
- (1) 玉の取り出し方は、全部で何通りありますか。
- (2) 赤玉が出る確率を求めなさい。
- (3) 赤玉または白玉が出る確率を求めなさい。
- (4) 青玉が出る確率を求めなさい。

- 5** 3 枚の硬貨を同時に投げるときの確率が求められますか。
- 3 枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。
- (1) 3 枚とも表となる確率
- (2) 2 枚が表で、1 枚が裏となる確率

- 6** 2 つのさいころを投げるときの確率が求められますか。
- A、B の 2 つのさいころを同時に投げます。右の表を参考にして、次の確率を求めなさい。
- (1) 目の数の和が 10 になる確率
- (2) 目の数の積が 6 になる確率
- (3) 目の数の差が 2 になる確率

B A	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

- 7** 樹形図をかいて、確率を求めることができますか。
- 1 から 4 までの数字を書いた 4 枚のカードがあります。
- このカードをよくきって、その中から続けて 2 枚取り出し、取り出した順に左から並べて、2 けたの整数をつくります。
- このとき、次の問いに答えなさい。
- (1) 2 けたの整数は、何通りできますか。上の樹形図を完成させて、求めなさい。
- (2) できた整数が偶数である確率を求めなさい。
- (3) できた整数が素数である確率を求めなさい。



- 8** 確率の考え方を利用して問題を解決することができますか。
- 赤玉 2 個、白玉 1 個がはいっている袋から玉を同時に 2 個取り出し、取り出した玉の色が 2 個とも赤であれば「あたり」となるゲームに挑戦します。ゲームの主催者から、「赤が出やすくなるように、赤玉を 1 個増やしてあげよう。ただし、それではあたる可能性が高くなりすぎるから、白玉も 1 個増やすのが条件だ。さあ、この案に乗るかいい？」と提案されました。「あたり」となる確率が高くなるよう、案に乗るか乗らないかを決めなさい。ただし、案に乗っても乗らなくても確率が変わらない場合は、どちらでもよいと答えなさい。